

岩手県ユニセフ協会「東日本大震災支援ツアー」報告

1. 2019年12月22日 東日本大震災津波伝承館視察（陸前高田市）参加23名 ～犠牲者を悼み、あの日の惨禍と教訓を胸に～

いわてTSUNAMIメモリアルは、「命を守り、海と大地と共に生きる～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～」を展示テーマに、奇跡の一本松をはじめとする周辺の震災伝承施設とともに震災の事実と教訓を伝承し、震災を乗り越えて進む姿を、支援への感謝と共に発信する。

同館は、国営追悼・祈念施設、道の駅高田松原と一体で、現在整備が進む高田松原津波復興祈念公園内に位置している。

【施設を見学する参加者たち】



伝承館の解説員から「震災の事実と教訓、復興への思い」などを丁寧にお話ししていただきました。展示資料の説明を聞き、田野畑村の無残な消防団の被災車両の展示を見て、津波の猛威に震える思いでした。そのあと、津波襲来時、沿岸の市の状況、亡き人への思いを届ける映画『漂流ポスト』には、涙をこらえつつ鑑賞しました。

この見学は、参加者全員にとって、大変有意義なひとときとなりました。

2. 大槌町で「第 11 回あぐどまめコンサート」を鑑賞し声援を送りました

東日本大震災津波伝承館視察後、大槌町文化センター大槌町おしゃちに移動した一行は、「大槌キッズキラス♪あぐどまめ・第 11 回定期コンサート」を鑑賞し声援を送りました。

震災から 5 年間、「盛岡市キャラホール少年少女合唱団」との交流をユニセフが支援し、その後も岩手県ユニセフ協会は毎年大槌の定期コンサートの鑑賞と支援を怠っていません。

今年も、童謡・こどもの歌、音楽ものがたり『11 ぴきのねこ』、愛唱歌ディズニーの名曲からどこまでも～モアナと伝説の海～などなど、楽しい曲に、全員が魅了されました。

あぐどまめのみなさん、児玉先生、佐々木先生、ありがとうございました。



【参加レポート：花巻友の会 瀬川 玲子】

今回の支援ツアーへ花巻友の会からは会長夫妻はじめ 7 名が参加しました。

最初に、高田松原復興記念公園の中の津波伝承館へ。立派な建物の中に膨大な資料が詰め込まれており、短時間でどのように…と思っていたのですが、解説員の方が要領がよく説明し案内して下さいだったので大助かりでした。津波が襲ってくる映像もあり、私たちは目をそらしたり涙を流したり、あの美しい海も牙をむく事があることから「津波てんでんこ」の意味を改めて考えさせられました。

それぞれで昼食をとった後、高速道をひた走り、大槌町「おしゃっち」へ。

一年ぶりの「あぐどまめ」コンサートでした。メンバーの皆さんのすばらしい成長ぶりに感動！特にミュージカル「11 ぴきのねこ」は構成も良く楽しませてもらいました。子ども達への X マスプレゼントで、今でも各地から支援がある事を知り、私たちもおすそ分けを頂き…、温かい気持ちで岐路につきました。ユニセフという組織の中で、ささやかな支援活動が続けられて来たことに、改めて感謝したいと思います。

<問い合わせ先>

岩手県ユニセフ協会 事務局 電話：019-664-2225